

■プロジェクト会議③ 2014/7/3 テーブルワークまとめ

分類	概要
A 地域福祉の活動の輪をひろげます	相談・情報提供を充実させます。
	総合相談窓口は（受付職員用対応）マニュアルがないとつらいかと思う。
	福祉総合窓口の設置（ワンストップ）（各種制度を越えた共通の入り口）が必要。
	分かりやすい案内、窓口（困った人をコーディネートする人が必要）。
	庁内組織ってまとまるの？総合窓口と各課の組織連携については困難。
	複合的問題を整理する窓口コーディネーターをどうするか？
	高齢、障害、生活保護が重複したケースが今後多くなると思う。
	担当窓口が上手に連携できているのか？
	担当課は書かないほうが良い？
	具体的な連携強化の方法は何をする？アウトリーチの方法と併せて検討が必要。
課で持っている委員会の再編も考えてはどうか？	
相談、情報提供。行政以外のセクターでもサービス提供できるとよい。	
社会福祉協議会の体制を強化します。	人事政策として、行政職員のゼネラリスト育成から、スペシャリスト育成への視点の転換が必要。
	何を止めるか？社協事業のコスト面からの見直しも必要ではないか。
	防災を中心に据えるのは良いと思う。共通の課題・男性・中心となる人材・組織など既存組織との調整が必要。
	地域福祉コーディネーターは誰がやるのか？社協だけでできるのか。
	コーディネーターは何人必要？市職員の地区担当制の仕組みを取り入れ連携していけるのか。
	市役所内部組織による地域担当制をどうするのか？できるの？
	担当者が何をやるのか、イメージはできるか？
防災・防犯と福祉を一体化した地域活動を推進します。	社協の組織風土で推進可能か？理事会、評議会の構成から見直し？
	ネットワークの名称で高齢者の安否確認、認知症見守りネット、要援護者の災害支援、子どもの登下校見守り活動など様々な活動がある。これらの地域ネットワークをつなげて生かしていくことも良いのではないか。
	喫茶店の見守りネットワークはいいと思うが、喫茶店は内向き（来店）。アウトリーチ、外向きの見守りもあった方がいい。
	見守りネットワークに、スーパーやコンビニ、銀行、農協を入れたい。
	障害のある高齢者を災害時に支援するのは大変だと思う。
	具体的内容 具体的過ぎるものもあり、項目ごとにレベルにばらつきがある。
	目標（テーマ）とサブタイトルの関連性がよく分からない。
	小学校区内でも地域差がある。方針の提示の仕方に工夫がいる。
	地域福祉の課題を整理する中で、ハード面の課題と・ソフト面の課題をどう対応していくのが行政としての考え方の提示が必要。
	地域福祉のライフ＆ワークバランス。地域でいきがいを持って働くこと。
ライフワークバランスから一歩進んで、ワークライフシナジーへ→仕事と生活の調和から、仕事と生活を分けるのではなく相乗効果をもたらす活動として地域から提案→地域で活動する人が増える。→人材育成へとつながる。	

分類	概要
B 地域福祉の活動を支えます	活動の人材育成を推進します。
	方針案が細かすぎるのではないか。
	あえて災害ボランティアだけを取り上げる必要があるのか。
	災害自助の意識も必要。本当に災害が起きたとき、必ず必要になる。
	すでにたくさんあるボランティア組織を、つなげることが大切。
	既存ボランティア組織を活用した、人材育成を行えば良いと思う。
	さまざまな既存ボランティア組織で、地域ごとで集まるのはどうか。
	その地域ごとのボランティア組織の中に、リーダーがいるのではないか。
	みんなが納得するリーダーは、自然とうまれる場合が多い。
	リーダー会議を行い、その場で勉強をしていくと良いと思う。
地域福祉の拠点づくりを推進・支援します。	「養成すること」に特化することはない。
	養成講座という手法にこだわらず、推進していくこともできるのではないか。
	小学校区単位？いまは、区長・自治会長が担っているという現状がある。
	退職者を各地域に任用し、自治会や民生委員をサポートしてはどうか？
	地域ごとに異なる問題を、話しあう場、気づきあう場があるとよい。
	形だけの協議会では意味がないので、みんなで何かやれる場があるとよい。
	分野別の方がよいのでは？
	いま活動しているボランティア組織に福祉的な視点をもってもらうシステムが必要。
	普段は違う活動をしていても、いざというとき災害に対応できるとよい。
	活性化は10年が限度で衰退してしまう場合がある。結局、人材がすべて。
地域福祉の拠点づくりを推進・支援します。	次計画も見通した長期的視点でないと、小学校区での自立は難しいのではないか。
	旧市川家を拠点にするのは、難しいのではないか。
	場所不足の声があるが、実際にどれくらい不足しているのか。
	場所を選んでいる面もあるのではないか。（無料の場所、新しい場所など）
	福祉会館無料。ここと他の施設との整合性が必要？
	目的に応じた優先順位をもうけ、利用しやすくするのはどうか。
	地域福祉に利用する方を優先するなどあっても良い。
	生活を豊かにすることにまで無料にするのは、財政的に厳しいのではないか。
	ぷらっとホーム、ほっとカフェ、公民館をもっと利用していけばどうか。
	日進の空家は、まだまだ売れるものが多いのではないだろうか。
商店街に多く空家がある地域とは違い、あまり日進にはあわない事業ではないか。	
立地に応じて、市やぷらっとホームで空家を利用して行くのは良いと思う。	

■プロジェクト会議③ 2014/7/3 テーブルワークまとめ

分類	概要	
<p>C 地域福祉の活動をつなぎ、大きな力に育てます</p> <p>困りごと解決のための連携・しくみをつくります。</p>	<p>キーマンのつくりかたが問題。</p> <p>定年間近の市職員の方を事前にスカウティングしておいて将来の地域キーマンに。</p> <p>南ヶ丘はキーマンがいてうまくいっている、高齢化の率の高い地域だが、その課題に向けて行われている。</p> <p>各地縁団体のとりまとめが現在ない。→とりまとめたい。</p> <p>なるべく現在の組織を上手に統合したい。</p> <p>個人情報の活用についての方法を市が示さないと実際の要支援者救済の際に地域はわからない。</p> <p>モデルケースがあるとイメージしやすく何事も動きやすい。</p>	
	<p>つなぎのきっかけづくりが大切。</p> <p>地域連携が上手くいけば大学生も巻き込むのが良い。</p> <p>システムだけ作るのではなく、動くしかけが必要。</p> <p>つながりは区、自治会ですすでにあるが、生活課題を拾えているか疑問。</p> <p>サポーターメンバーをどう選ぶか。</p> <p>子どもを動かすと親も三世代が動く。</p> <p>地域の課題解決のモデルケースを示す。</p> <p>公民館に職員が配置されると良い。</p> <p>各会館の施設内容と利用方法を知らない、伝える必要がある。</p> <p>相談体制はどうなっているか、サポーター会議に情報提供が必要。</p>	
	<p>市民の交流活動を推進し、活動への参加を推進します。</p>	<p>小学校の運動会でなるこ踊りなど、つなげるテーマづくりが重要。</p> <p>商工会も仕掛けているが、総踊り、つなぐテーマにいい。</p> <p>まず場にてでみること、家から連れ出すことが大事。</p> <p>テーマ型NPOと地縁型NPOとのマッチング。</p> <p>地縁型組織とテーマ型組織のマッチングが難しい。(どう関わったらよいのか分からない)</p> <p>福祉会館等でのつなぐ事業はできるかも。</p>
		<p>パトロール、朝通学交流は既にあるところもある。</p> <p>にぎわい交流館の登録、社協の登録の、すみ分けと整理が必要。</p> <p>区長とにぎわい交流館をくっつける事業があると良い。</p> <p>福祉会館を使っている団体をあらいだすことから始めると良い。</p> <p>マッチングするには、もっと正職が必要。</p> <p>南・東は高齢者が多い。</p> <p>高齢者が来ないところもある。団体貸し出しはしていない。</p> <p>福祉会館には子育てとしての親子(個人)は自由に使える場もある。</p> <p>にっしん体操というテーマで交流しつなぐことができる。</p>

分類	概要
<p>市民の交流活動を推進し、活動への参加を推進します。</p>	<p>とにかくみんなが知らない。場所の使い方、資源、登録の仕方。</p>
	<p>鳴子踊り。にっしん体操。テーマにつなぐきっかけ。</p>
	<p>福祉会館が交流の場として使える。</p>
	<p>学校が交流の場として使える。</p>
	<p>学校の運動会で鳴子おどりとかが行い、おどりをつなげるテーマに。</p>
	<p>交流活動のマッチングを「にぎわい交流館」でできないかと考えている。</p>
<p>福祉教育を推進します。</p>	<p>香久山で日進体操と鳴子踊りのモデル事業。</p>
	<p>家推の役員が様々な立場と役職がいるので、うまく協力できると良い。</p>
	<p>学校に部屋がない、教室がない。</p>
	<p>学校で地域の会議はカギ管理の問題がある。</p> <p>学校で地域と子どもとの交流は喜ばれる。</p> <p>小学校を活用し、子どもを動かすことで3世代が動く。</p>